

## 物価動向に関する参考資料

## 【参考 1】令和 3 年度及び令和 5 年度における主食及び牛乳の単価比較

## (1) 小学校

品名	令和 3 年度	令和 5 年度	増加率
白飯 (60g)	43.80 円	47.11 円	7.6%
コッペパン (50g)	50.00 円	57.11 円	14.2%
こどもパン (50g)	52.62 円	59.34 円	12.8%
地粉うどん (70g)	57.00 円	66.11 円	16.0%
中華めん (70g)	54.39 円	62.49 円	14.9%
主食平均	47.68 円	52.77 円	10.7%
牛乳	53.13 円	58.38 円	9.9%
1 日平均 (主食平均+牛乳)	100.81 円	111.15 円	10.3%

## (2) 中学校

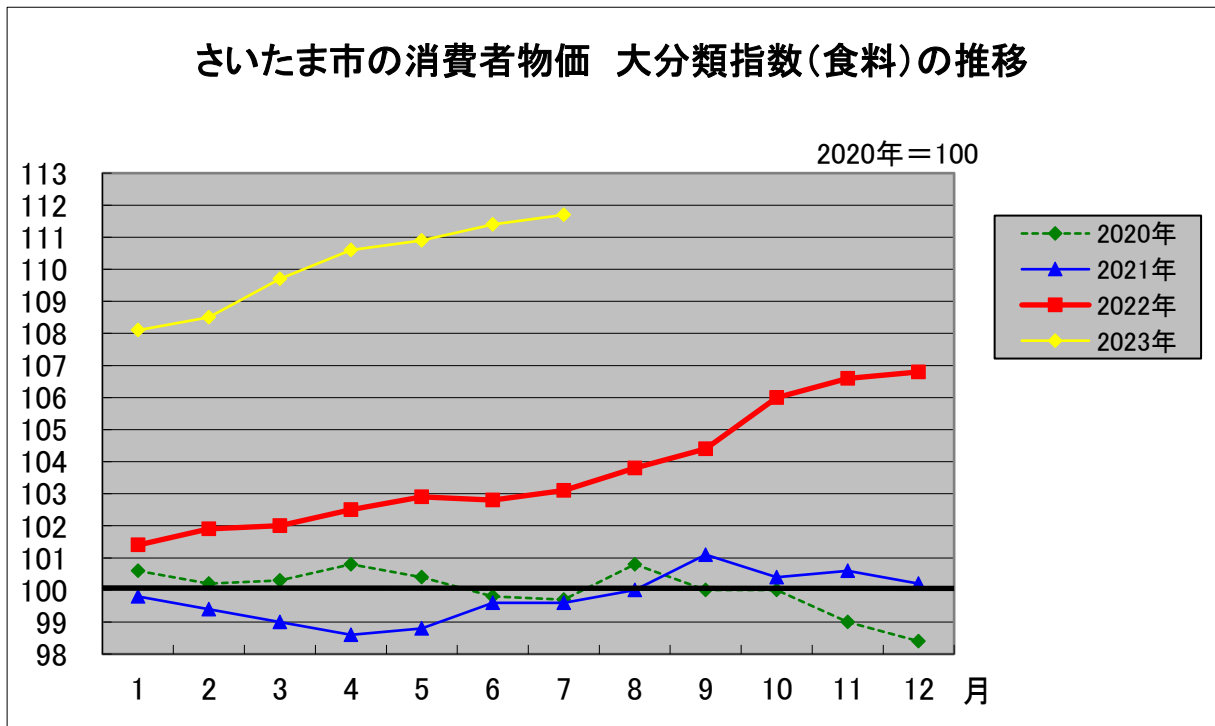
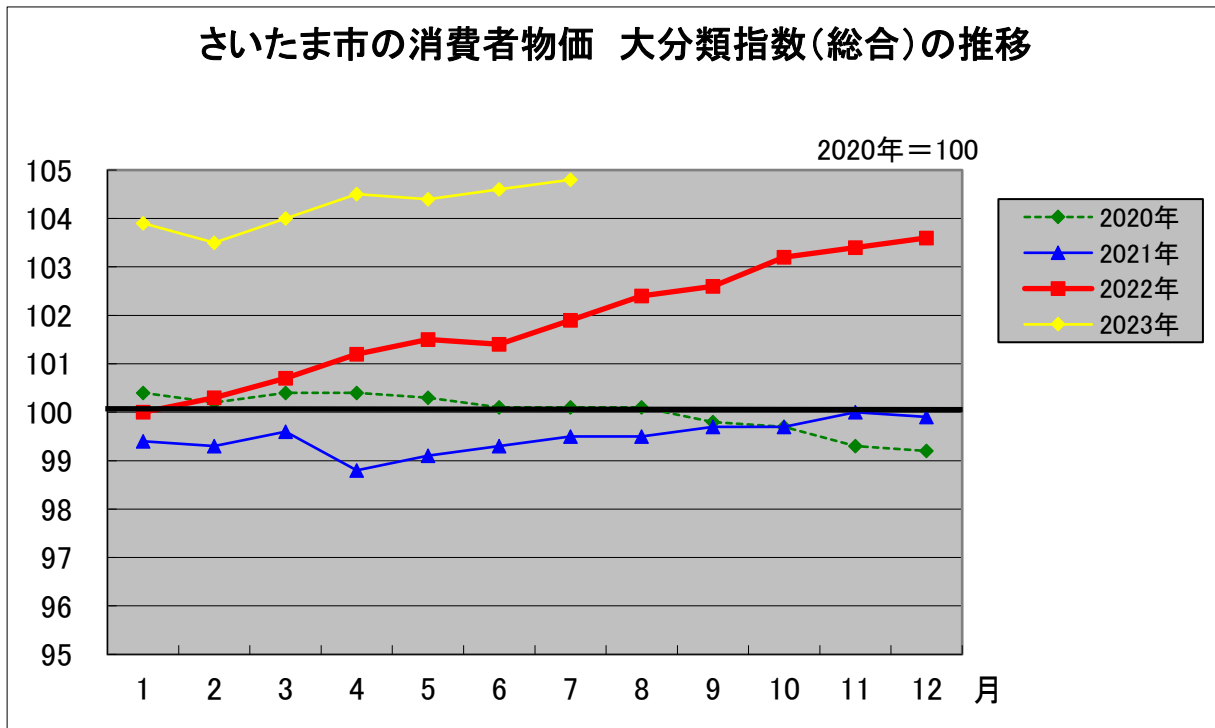
品名	令和 3 年度	令和 5 年度	増加率
白飯 (100g)	73.00 円	78.52 円	7.6%
コッペパン (70g)	54.29 円	62.42 円	15.0%
こどもパン (70g)	57.25 円	64.97 円	13.5%
地粉うどん (100g)	68.68 円	79.86 円	16.3%
中華めん (100g)	65.45 円	75.14 円	14.8%
主食平均	68.37 円	75.35 円	10.2%
牛乳	53.13 円	58.38 円	9.9%
1 日平均 (主食平均+牛乳)	121.50 円	133.73 円	10.1%

(注) それぞれの主食平均は、白飯 (ごはん) 6 日分、パン 2 日分 (コッペパン、こどもパン各 1 日分)、麺類 2 日分 (地粉うどん、中華めん各 1 日分) として、合計 10 日分として合算した額を、1 日当たりの額として算出した。

【参考2】令和5年度の主な副食用食材の価格変動（4月と10月比較）

品名	4月	10月	増減率
豚もも肉（小間切れ）1kg	950円	1,050円	10.5%
鶏むね肉（小間切れ）1kg	842円	820.8円	△2.5%
鶏もも肉切り身60g	97.2円	97.2円	0.0%
フランクフルト50g	74.52円	74.52円	0.0%
冷凍うす塩鮭切り身60g	106.92円	106.92円	0.0%
下味付豚レバー澱粉付1kg	1,728円	2,106円	21.9%
冷凍液卵1kg	540円	684円	26.7%
茹で大豆1kg	432円	498円	15.3%
豆腐1kg	464.4円	496.8円	7.0%
油揚げカット1kg	759円	759円	0.0%
米油1kg	518.4円	486円	△6.3%
醤油10ℓ	2,074円	2,199円	6.0%
塩25kg	2,370円	2,370円	0.0%
砂糖30kg	7,236円	7,538円	4.2%
本みりん1.8ℓ	526円	504円	△4.2%
中濃ソース1.8ℓ	496.8円	496.8円	0.0%
トマトケチャップ3kg	864円	642.6円	△25.6%
味噌（白）1kg	210円	218円	3.8%
カレーフレークルー1kg	702円	756円	7.7%
煮干しパック1kg	1,782円	2,430円	36.4%
鰹節（碎片）500g	1,620円	1,728円	6.7%
乾燥カットわかめ（国産）200g	1,836円	1,836円	0.0%
切り干し大根1kg	1,836円	1,840円	0.2%
冷凍ホールコーン国産	548円	548円	0.0%
冷凍ブロッコリー	1,026円	1,026円	0.0%

【参考3】さいたま市の消費者物価指数の推移



【参照】埼玉県ホームページ  
 消費者物価指数 時系列データ 【2020年（令和2年）基準】

【参考4】日本銀行 経済・物価情勢の展望（2023年7月）

2023～2025年度の政策委員の大勢見通し

——対前年度比、%。なお、< >内は政策委員見通しの中央値。

	実質GDP	消費者物価指数 (除く生鮮食品)	(参考) 消費者物価指数 (除く生鮮食品・エネルギー)
2023年度	+1.2 ~ +1.5 <+1.3>	+2.4 ~ +2.7 <+2.5>	+3.1 ~ +3.3 <+3.2>
4月時点の見通し	+1.1 ~ +1.5 <+1.4>	+1.7 ~ +2.0 <+1.8>	+2.5 ~ +2.7 <+2.5>
2024年度	+1.0 ~ +1.3 <+1.2>	+1.8 ~ +2.2 <+1.9>	+1.5 ~ +2.0 <+1.7>
4月時点の見通し	+1.0 ~ +1.3 <+1.2>	+1.8 ~ +2.1 <+2.0>	+1.5 ~ +1.8 <+1.7>
2025年度	+1.0 ~ +1.2 <+1.0>	+1.6 ~ +2.0 <+1.6>	+1.8 ~ +2.2 <+1.8>
4月時点の見通し	+1.0 ~ +1.1 <+1.0>	+1.6 ~ +1.9 <+1.6>	+1.8 ~ +2.0 <+1.8>

(注1) 「大勢見通し」は、各政策委員が最も蓋然性の高いと考える見通しの数値について、最大値と最小値を1個ずつ除いて、幅で示したものであり、その幅は、予測誤差などを踏まえた見通しの上限・下限を意味しない。

(注2) 各政策委員は、既に決定した政策を前提として、また先行きの政策運営については市場の織り込みを参考にして、上記の見通しを作成している。

【参照】日本銀行 経済・物価情勢の展望（2023年7月）10P